

株主・投資家の皆様へ

第26期

# 株主通信

2017年1月1日から2017年12月31日まで

## Contents

株主の皆様へ	01
中期経営計画	02
連結財務諸表	03
特集	04
シークスグローバルネットワーク	07
トピックス	09
株式の状況	10
役員の状況	10

シークス株式会社

証券コード | 7613



代表取締役会長  
村井史郎

株主の皆様には日頃から温かいご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに第26期株主通信をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当社は2017年7月に設立25周年を迎え、また新たな四半世紀に向けたスタートを無事に切ることができました。これまでの皆様方の温かいご支援に対し改めまして、心より感謝申し上げます。

当期の経済環境を顧みますと米国では、雇用・所得環境の改善や個人消費の拡大を背景に、景気は順調に回復を続けました。欧州では、失業率の低下や輸出の増加を受け、景気は底堅く推移しております。アジアにおいて、中国では各種政策効果もあり、景気の持ち直しの動きが見られ、その他アジアにおいても緩やかな回復が続きました。日本では、企業収益が改善する中、個人消費も緩やかな回復基調が続いております。

このような中、グローバルベースで電装化、モジュール化の流れが更に加速し、顧客企業の事業分野の多様化が進み始めました。また、形のあるものではなく形のないものが価値を生む時代が到来しています。「グローバル・ビジネス・オーガナイザー」である当社にとってこのようなマクロ経済環境の大きな変化はフォローの風であり、世界各地で需要への早急な対応が必要となってまいりました。2017年後半には新たに中国内陸部に湖北工場、東欧に2拠点目となるハンガリー工場を設立致しました。中国家電大手の美的集団とのアライアンスも順調に進めており、2拠点目となる合併工場を安徽省合肥に設立することで、高まりつつある中国でのビジネスチャンスにも備えております。

業績につきましては、お陰様で営業利益および経常利益は4期連続の過去最高、当期純利益においては5期連続の過去最高となりました。また2018年2月には新たに中期経営計画を発表し、大いなる飛躍に向け、様々な分野でチャレンジな目標を掲げております。25年を振り返り、「稽古照今」の精神で謙虚に、貪欲に今後も成長を続けてまいりたいと考えております。

本年は中期経営計画の初年度でもあり、大いなるジャンプの年にしたいと考えておりますので、株主の皆様には、引き続きご支援を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

2018年3月

業績目標

2017年度実績

売上高 **2,331** 億円  
営業利益 **97** 億円

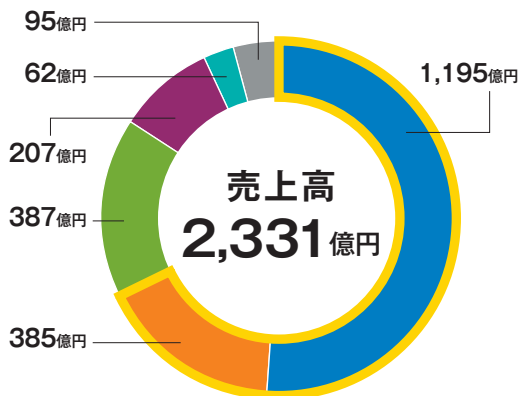


2020年度目標

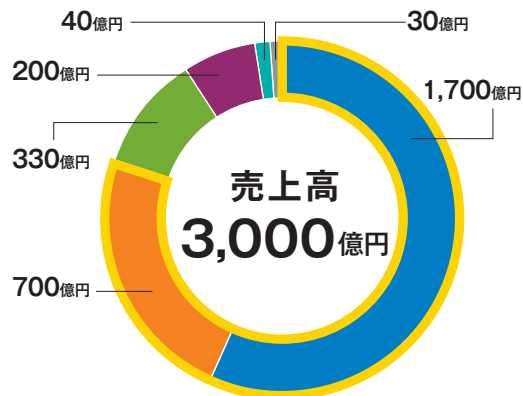
売上高 **3,000** 億円  
営業利益 **140** 億円  
(1US\$=110円)

品種別売上高目標

2017年度実績



2020年度目標



車載関連機器

産業機器

家電機器

情報機器

一般電子部品

その他

〈車載関連機器と産業機器で売上高80%を目指します。〉

# 連結財務諸表

Consolidated Financial Statements

## 連結貸借対照表

単位:百万円

科目	当期	前期
	(2017年12月31日現在)	(2016年12月31日現在)
<b>資産の部</b>		
流動資産	96,477	82,164
固定資産	34,048	27,531
有形固定資産	19,835	16,878
無形固定資産	929	454
投資その他の資産	13,283	10,198
資産合計	130,526	109,695
<b>負債の部</b>		
流動負債	56,549	46,605
固定負債	16,367	11,516
負債合計	72,916	58,121
<b>純資産の部</b>		
株主資本	52,244	46,761
資本金	2,144	2,144
資本剰余金	5,625	5,624
利益剰余金	46,498	41,020
自己株式	△ 2,023	△ 2,027
その他の包括利益累計額	5,008	4,570
その他有価証券評価差額金	555	745
繰延ヘッジ損益	11	4
為替換算調整勘定	4,602	4,008
退職給付に係る調整累計額	△ 161	△ 187
新株予約権	31	—
非支配株主持分	326	241
純資産合計	57,609	51,573
負債・純資産合計	130,526	109,695

## 連結損益計算書

単位:百万円

科目	当期	前期
	(2017年1月1日から 2017年12月31日まで)	(2016年1月1日から 2016年12月31日まで)
売上高	233,153	212,768
売上原価	210,525	192,567
売上総利益	22,627	20,201
販売費及び一般管理費	12,922	11,067
営業利益	9,705	9,134
営業外収益	1,258	984
営業外費用	450	972
経常利益	10,513	9,146
特別利益	—	58
特別損失	258	—
税金等調整前当期純利益	10,254	9,204
法人税等	3,269	2,503
当期純利益	6,985	6,701
非支配株主に帰属する当期純利益又は 非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△ 108	2
親会社株主に帰属する当期純利益	7,093	6,698

## 連結キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円

科目	当期	前期
	(2017年1月1日から 2017年12月31日まで)	(2016年1月1日から 2016年12月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,536	6,333
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 9,211	△ 5,450
財務活動によるキャッシュ・フロー	6,410	△ 4,171
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 52	△ 407
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,682	△ 3,696
現金及び現金同等物の期首残高	8,776	12,473
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	114	—
現金及び現金同等物の期末残高	10,574	8,776

\* 連結貸借対照表・連結損益計算書・連結キャッシュ・フロー計算書の記載金額は、それぞれ表示単位未満切捨てにより表示しております。

# 顧客から高い評価を受ける シークスの「ものづくり」

—コンパクトな組織で高い製造技術を確保—

シークスの「ものづくり」は、多彩な業種・業態のお客様から、高い評価を獲得しています。今回は、シークスの「ものづくり」を支える製造技術開発チームとその役割、製造技術の強みなどについてご紹介します。

## 顧客ニーズの製造技術に特化した コンパクトな技術推進チーム

EMSの業界において、競合他社はその多くがメーカーを起源としており、実装・基板・回路・制御の設計チームなど、技術開発の組織を100人以上の規模で持っているほか、納品後のメンテナンスやサポートを実施するスタッフも自前で抱えている例がほとんどです。

それらの企業とは違い、シークスはお客様と一緒にものづくりをしていくのに必須である製造技術の開発に特化するチームを擁しているものの、コンパクトな組織にとどまっています。雇用や設備にかかる固定費や莫大な投資費用をかける必要がなく、高い収益の確保につながっています。

これは、インキメーカー※1の商事・貿易部門を分社化

したという当社の起源にも深く関連しています。メーカー系の企業は自前の組織や設備が足かせとなり、「特定の技術を開発したから売る」といった技術オリエンテッドの営業に走りがちです。一方、創業当初から総合商社を志向していた当社は、「お客様のニーズを実現するために、お客様が必要なリソースをオーガナイズしてお届けすること」を最優先した、お客様起点のビジネスを追求しているのです。

※1 1992年、サカタインクス株式会社より分社し、「サカタインクスインターナショナル株式会社」を設立。1998年、シークス株式会社へ改称。

## 自社にノウハウがなくても、 「ノー」とは言いません

大きな技術開発部隊を持たないシークスのような会社が、何故お客様のニーズに対応できるのか、不思議に



思われる方もいらっしゃるかもしれません。

たとえば、新製品の開発を考えているお客様に対して、当社が持っているノウハウでは対応できないとします。

そのような場合も、私たちはグローバルなネットワークを駆使して、装置メーカーなど協業可能な企業や技術者を探し出し、お客様の要望を満たす提案を行います。

当社の営業マンに、お客様の要望に対して「ノー」とは答えられないコミュニケーションを徹底しています。出先の社員ひとりが「できません」と言えば、会社が言ったのと同じことになってしまいます。「わかりました。しかし、どういう形でやるかは社に持ち帰って検討し、ご返答します」と答えることで、お客様の要望は会社全体の課題となり、全社で可能性を模索することが可能になるのです。

自社にノウハウがなくても対応するEMS企業は世界でも珍しく、当社がお客様から高く評価されるポイントのひとつにもなっています。

## お客様とともに進めるものづくりに必須の製造技術を開発しています。

冒頭で、シークスには小規模の製造技術開発チームがあると述べました。このチームがどのような活動を行っているのかについて、ご紹介します。

エレクトロニクスの分野では近年、製品の軽薄短小化やデジタル化が進行するとともに車載分野においても電子化が進み、EV(電気自動車)やADAS(Advanced driver assistance systems:先端運転支援システム)など大きな技術革新が起こっています。

このような潮流を受けて、部品・基板の形態も大きく変わってきました。当社の製造技術開発チームでは、それらの変化を踏まえた工法や自動化の技術を開発して

います。

たとえば基板が小型化すれば、小さな部品を大量に、精度良く、スピーディにはんだ付けしていく技術が求められます。そのような技術のほか、コーティングやモールドイング\*2によって目視できない部品の増加に伴い、見えない部品の品質を担保できるよう、検査技術についても日々開発しています。

いつの時代も「効率良く、安く、ムダのないものづくりをしたい」ということにお客様は関心を持っています。シークスでは、そのようなお客様の関心事に積極的に対応して、特に新しい工法については他社に先駆けて開発を進めています。

\*2 半導体にチップやワイヤーを組み込んだ後、保護のために樹脂で封止すること。

## 製造技術の課題に対応しながら、さらなる成長を追求します。

次にあげる課題について、シークスは人材・組織・技術の各要素を有機的に結合させながら対応し、成長に反映させていきます。

### 技術のノウハウの蓄積と活用

AIを活用したスマートファクトリーが注目されていますが、将来の工場においてどのように技術のノウハウを蓄積し、活用していくかがキーになると考えられます。そのための技術や人材の開発を進めていく必要があると考えています。

### 品質技術・製造技術の各工場への横展開

当社は品質や製造技術に強みがあり、そのことがお客様からの高い評価につながっています。これらの技術を全工場にどのように展開していくかが、継続して取り組むべき課題です。

## マルチプロセスに対応する仕組みの強化

多種多様な業界・業態のお客様とお付き合いするためには、複数のプロセスを並行して進めていくマルチプロセスに

対応した仕組みづくりが重要です。このような仕組みづくりのために既存のテクノロジーに新しい技術をプラスしながら進めていきます。

## 株主様へのメッセージ



村井 史郎

代表取締役会長

現・サカティンクスの前身である阪田商会で輸出を手がけた頃から、製造業が垂直統合型から水平分業へ変化していくことを予見していました。大切なのは、特定の技術へのこだわりではなく、時代の風を予見する能力や、技術の違いを見分けることのできる「目利き」の力です。シークスではそういった能力をもつ人材を世界の各拠点に配し、お客様のニーズにお応えしているのです。



桔梗 芳人

代表取締役社長

車載関連機器の売上高比率が50%以上に高まり、収益にも貢献しています。このことは、Tier1と呼ばれる自動車の一次サプライヤーから、実装基板の品質や検査体制、試作から生産準備、量産にいたるまでスピーディに仕上げる点などが非常に高い評価を得ていることによります。それらのお取引先様から監査を受ける際も、現場と実績をつぶさに見ていただき、当社の製造技術の高さにご納得いただいています。



藤田 達雄

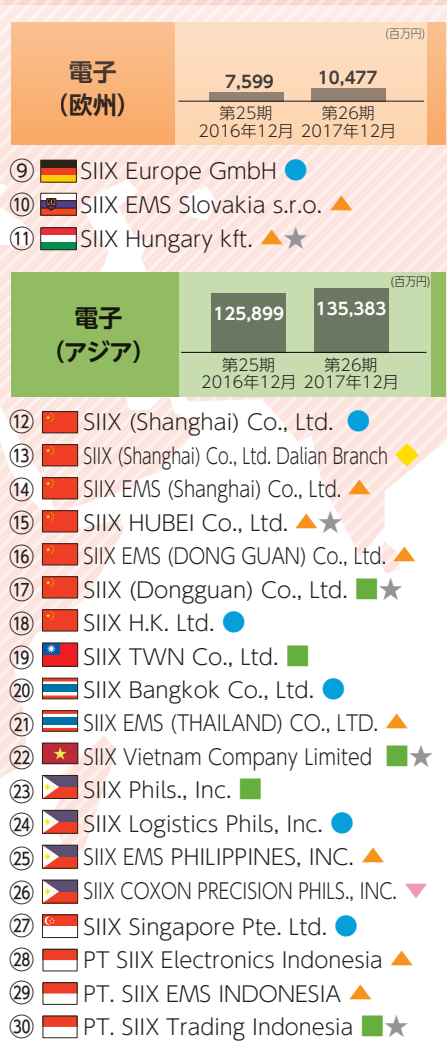
執行役員 グループ技術統括担当  
兼シークスエレクトロニクス(株)代表取締役社長  
兼シークスエレクトロニクス(株)グループ技術統括部長

世界のどの工場で生産したとしても、同じクオリティのものづくりを行うことができるよう、シークスの全生産拠点から、製造技術や品質管理など製造に携わるスタッフが参加する「製造会議」を年に2回開催しています。それぞれの拠点の事例・課題を紹介し、ディスカッションを行うことで、深いレベルで情報の共有が実現し、各拠点が成長するヒントを得ることができる機会としています。

# シークスグローバルネットワーク

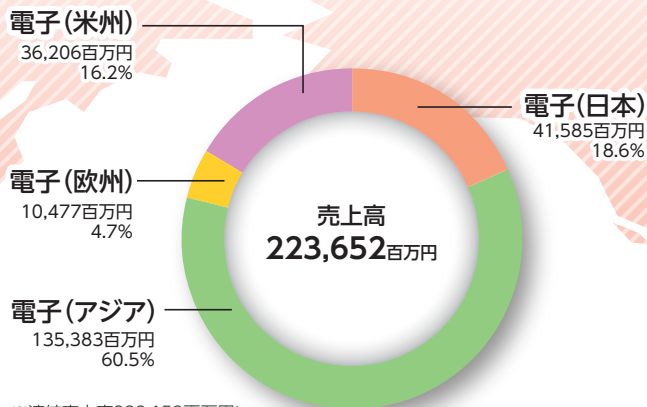
幅広い海外拠点網の有機的なネットワークを通じて、お客様にさまざまなアウトソーシングの選択肢を提供できることがシークスの強みのひとつです。

部材調達から、製造、物流に至るまで、お客様のグローバルな事業展開をお手伝いできる拠点を世界14カ国に約50ヶ所設置しております。(2017年12月末現在)

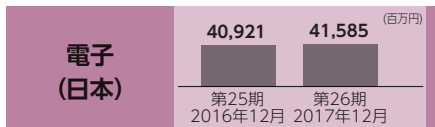




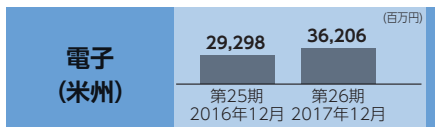
セグメント別売上高構成比



※連結売上高233,153百万円には、上記の他、報告セグメントに属さない9,501百万円等が含まれております。



- ① シークス株式会社
- ② シークスエレクトロニクス株式会社



- ③ SIIX U.S.A. Corp.
- ④ SIIX U.S.A. Corp. Detroit Branch
- ⑤ SIIX U.S.A. Corp. Irvine Branch
- ⑥ SIIX MEXICO, S.A DE C.V.
- ⑦ SIIX EMS MEXICO, S. de R.L de C.V.
- ⑧ SIIX do Brasil Ltda.

主な事業内容

- 電子部品等の販売・物流
  - 電子部品等の販売
  - 各種基板実装および  
機器・部品の組立・加工
  - プラスチック成形および金型製造
  - 支社・駐在員事務所
- ※★は非連結子会社

6月

## AEO 制度における「特例輸入者」承認取得

6月5日付けで、大阪税関より輸入貨物のセキュリティ管理と法令遵守体制が整備されている事業者に与えられる『AEO特例輸入者』の承認を取得しました。これにより、輸入申告時の納税のための審査・検査が基本的に省略され、輸入貨物の迅速かつ円滑な引き取りが期待されます。当社では、今後も、輸入関連業務における貨物のセキュリティ管理とコンプライアンス体制を強化し続けるだけでなく、お客様にとって高品質かつ効率的なサービスを提供してまいります。

11月

## 関連会社 合肥美的希克斯電子有限公司を設立

2015年より中国を代表する家電メーカーの美的集団との間でアライアンスの強化を進めておりますが、2017年11月に合弁工場としては2社目となる合肥美的希克斯電子有限公司を設立いたしました。旺盛な内陸部の消費へ対応すべく、空調機器用基板の実装からビジネスを行ってまいります。

2017年

7月

## 設立25周年

7月1日をもちまして、おかげさまで設立25周年を迎えることができました。これもひとえに、お取引先様、株主様をはじめとする多くのステークホルダーの皆様からのご指導ご支援の賜物と、ここに改めて深く感謝を申し上げます。

今後もすべてのステークホルダーの皆様に共感と魅力をもたらす企業となるべく、「グローバル・ビジネス・オーガナイザー」として従業員一丸となり日々社業に邁進してまいります。

## 長期信用格付け「A格」取得

日本格付研究所より当社の長期信用格付けがワンノッチ格上げされ、今回A-（見通し:安定的）を取得いたしました。今後も格付け向上が続くよう、業績向上、財務体質の改善等に取り組んでまいります。

# 株式の状況

Situation Of The Stocks

# 役員 の 状況

Officer

(2018年3月29日現在)

## 株式・株主の状況

2017年12月31日現在

発行可能株式総数 .....80,000,000株  
 発行済株式総数.....25,200,000株  
 当期末株主数.....4,448名

※2018年3月31日(土)(実質3月30日(金))を基準日として、同日最終の株主名簿に記載された株主様の所有株式数を1株につき2株の割合をもって分割いたします。  
 (効力発生日：2018年4月1日(日))

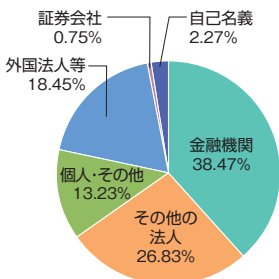
上記は2017年12月31日現在の発行可能株式総数および発行済株式総数です。

### [ 大株主 ]

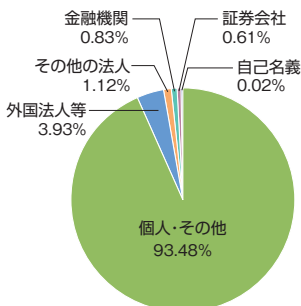
株主名	株式数(株)	持株比率(%)
サカタインクス株式会社	5,406,000	21.45
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,306,200	9.15
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,828,700	7.26
有限会社フォーティ・シックス	1,100,000	4.37
株式会社りそな銀行	1,085,400	4.31
株式会社三井住友銀行	1,080,000	4.29
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	1,054,200	4.18
J.P. MORGAN BANK LUXEMBOURG S.A. 380578	892,200	3.54
村井 史郎	700,000	2.78
資産管理サービス信託銀行株式会社(証券投資信託口)	361,400	1.43

※上記のほか当社所有の自己株式571,930株(2.27%)があります。

[ 所有者別所有株式数 ]



[ 所有者別株主数 ]



代表取締役会長 執行役員	村井 史郎	
代表取締役社長 執行役員	桔梗 芳人	
取締役 執行役員	岡田 雅夫	大阪営業部担当 兼 国内営業総括 兼 資材統括部担当 兼 台湾担当 兼 インドネシア地域担当 兼 PT.SIIX EMS INDONESIA担当 兼 PT.SIIX Trading Indonesia担当
取締役	高谷 晋介	高谷晋介公認会計士事務所 代表 フジ住宅株式会社 社外監査役
取締役	大森 進	UBS証券株式会社 常勤監査役 UBSアセット・マネジメント株式会社 社外監査役
監査役(常勤)	友田 雅之	
監査役	石橋 正紀	税理士法人 石橋会計事務所 所長 株式会社京都銀行 社外監査役
監査役	手島 泉	サカタインクス株式会社 常勤監査役
執行役員	大野 精二	経理部長 兼 情報システム部担当
執行役員	外山 正一	シンガポール地域担当 兼 PT SIIX Electronics Indonesia担当 兼 SIIX Singapore Pte. Ltd. マネージングディレクター
執行役員	好川 浩	東京営業開発部長
執行役員	松下宇一郎	北米地域担当 SIIX U.S.A. Corp. マネージングディレクター
執行役員	吉田 明生	企画部長
執行役員	村上 正樹	名古屋営業部長 兼 中国華東・華北地域担当 兼 SIIX (Shanghai) Co., Ltd. 担当
執行役員	柳瀬 晃治	欧州地域担当 兼 SIIX Europe GmbH マネージングディレクター 兼 中南米地域担当
執行役員	中村 晃	兼 SIIX EMS MEXICO, S. de R.L de C.V. マネージングディレクター
執行役員	於保 慎哉	SIIX EMS PHILIPPINES, INC. マネージングディレクター
執行役員	丸山 徹	総務部長 兼 秘書室長 兼 東京総務部長
執行役員	浦谷 行信	フィリピン担当 兼 SIIX Logistics Phils, Inc. マネージングディレクター 兼 SIIX COXON PRECISION PHILS., INC.担当
執行役員	藤田 達雄	グループ技術統括担当 兼 シークスエレクトロニクス株式会社 代表取締役社長 兼 シークスエレクトロニクス株式会社 グループ 技術統括部長
執行役員	平岡 和也	香港・中国華南・華中地域担当 兼 SIIX H.K. Ltd. マネージングディレクター 兼 SIIX EMS (DONG GUAN) Co., Ltd. 董事長 兼 総経理 兼 SIIX HUBEI Co., Ltd. 担当 兼 美的PJ担当
執行役員	常井 雅文	SIIX EMS (Shanghai) Co., Ltd. 董事長 兼 総経理
執行役員	斎藤 善久	SIIX EMS Slovakia s.r.o. マネージングディレクター 兼 SIIX Hungary Kft. マネージングディレクター
執行役員	岩武 孝明	東京営業部長
執行役員	高木 浩昭	タイ・ベトナム地域担当 兼 SIIX EMS (THAILAND) CO., LTD. マネージングディレクター 兼 SIIX Vietnam Company Limited マネージングディレクター

※取締役のうち、高谷晋介氏、大森進氏は、社外取締役です。

※監査役のうち、石橋正紀氏、手島泉氏は、社外監査役です。

## 株主メモ

事業年度 毎年1月1日から12月31日まで  
定時株主総会 毎年3月  
基準日 定時株主総会 毎年12月31日  
期末配当金 毎年12月31日  
中間配当金 毎年6月30日  
そのほか必要のあるときは、あらかじめ公告して定めた日

株主名簿管理人および  
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人  
事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) 〒168-0063

東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行事務センター

(電話照会先) ☎ 0120-782-031

(インターネット) <http://www.smbt.jp/personal/agency/index.html>  
(ホームページURL)

公告方法 当社のホームページに掲載します。  
<http://www.siix.co.jp/jp/ir/koukoku.html>

単元株式数 100株

上場取引所 東京証券取引所市場第一部

証券コード 7613

### [株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について]

#### 証券会社に口座を開設されている株主様

口座のある証券会社宛にご照会お願いいたします。

#### 証券会社に口座を開設されていない株主様

株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といえます。)を開設しております。上記の電話照会先にご照会お願いいたします。

## IRメール配信のご案内

当社では投資家の皆様に対してe-MailによるIR情報配信サービスを行っております。ご登録いただいた方々に当社のWebサイト(<http://www.siix.co.jp/>)に新たな情報が掲載されたことをお知らせします。ご希望の方は、当社のWebサイトIR関連サービスのページ(<http://www.siix.co.jp/ir/news/irnews/irnews.html>)から、簡単にご登録(無料)いただけます。



この冊子は植物油インキを使用しております。

## 会社概要

(2017年12月31日現在)

商号 シークス株式会社  
設立 1992年7月1日  
資本金 2,144百万円  
従業員数 個別 177名  
連結 11,659名  
拠点 大阪本社、東京本社、名古屋営業部  
証券コード 7613  
URL <http://www.siix.co.jp/>

## 株主優待

### ギフトカード

■対象:毎年12月末日の当社株主名簿に記載された1単元(100株)以上の当社株式を保有の株主様

内容(お一人あたり)	
10単元(1,000株)以上	3,000円分のギフトカード
5単元(500株)以上10単元未満	2,000円分のギフトカード
1単元(100株)以上5単元未満	1,000円分のギフトカード

※1 カード会社発行のギフトカードを贈呈いたします。

※2 毎年3月の定時株主総会後にお送りいたします。

### 海外工場視察旅行

■対象:1単元以上の当社株式を1年以上連続保有の株主様  
※[1年以上連続保有の株主様]とは、毎年12月末日の当社株主名簿に、前期末ならびに当該年度6月末と同一株主番号にて、連続して記載された株主様とします。

■内容:当社のビジネスモデルに対する理解を深めていただくことを主眼に、当社海外工場の視察を含む旅行に、上記の長期保有の株主様の中から抽選で10名様をご招待いたします。(毎年1回)

・2018年開催予定:フィリピン

## 配当推移

	第24期 2015年12月	第25期 2016年12月	第26期 2017年12月
配当金(円)	42	50(記念配当2円含)	52
配当性向(%)	15.2	18.7	18.1

## 株式分割

2018年3月31日(土)(実質3月30日(金))を基準日として、同日最終の株主名簿に記載された株主様の所有株式数を1株につき2株の割合をもって分割いたします。

(効力発生日:2018年4月1日(日))

株式分割後も、株主優待制度の対象となる条件・内容に変更はございません。